

平成 16 年 8 月 18 日

各 位

会 社 名 新日鉱ホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 清水康行  
 コード番号 5016  
 問合せ先 総務グループ(IR・広報担当)  
 シニアオフィサー - 八牧暢行  
 電 話 03-5573-5123

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 7 月 9 日に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

### 平成 17 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 16 年 7 月 9 日発表)	1,127,000	39,000	9,000
今回修正予想(B)	1,152,000	49,000	14,500
増減額(B - A)	(○)25,000	(○)10,000	(○)5,500
増 減 率	2.2%	25.6%	61.1%

#### <修正の理由>

平成 17 年 3 月期中間連結業績の売上高は、石油セグメントにおける原油情勢を反映した製品価格の上昇を主因として増収となる見込みであります。連結当期純利益は、石油セグメントを中心とした全中核事業会社グループの連結経常利益の増益、連結子会社である(株)エーエム・ピーエム・ジャパンの第三者割当増資に伴う当社持株比率変動(90.0%→33.7%)および持分法適用会社への組替による特別利益の計上(約 55 億円)、各グループの減損処理増等による特別損失等により、55 億円増加の 145 億円となる見込みであります。

#### <セグメント別経常利益内訳(平成 17 年 3 月期中間連結業績予想)>

(単位:億円)

		前回	今回	差異	経常利益差異説明	15/上実績
石油セグメント	売上高	8,650	8,860	(○)210	マージン改善,在庫評価益の増,石化損益の改善等	8,308
	経常利益	150	240	(○)90		146
資源・金属セグメント	売上高	1,735	1,805	(○)70	持分法適用会社の増益,銅プレミアムの改善等	1,432
	経常利益	160	175	(○)15		51
電子材料セグメント	売上高	455	475	(○)20	圧延銅箔,ターゲット材の増販,マージン改善等	371
	経常利益	35	55	(○)20		35
金属加工セグメント	売上高	295	300	(○)5	IT関連向け箔・高機能材製品の増販等による増益	222
	経常利益	50	52	(○)2		27
その他セグメント	売上高	305	300	(×)5	(株)エーエム・ピーエム・ジャパンの損失増等	367
	経常利益	5	32	(×)27		5
消 去	売上高	170	220	(×)50		176
	計	11,270	11,520	(○)250		10,524
	経常利益	390	490	(○)100		193

<平成 17 年 3 月期連結業績予想について>

平成 17 年 3 月期連結業績予想については、中間決算発表時に発表いたします。

<参考>前提条件(平成 17 年 3 月期中間連結業績予想)

		前回	今回	差異	15/上実績
石油 セグメント	為替レート(円/\$)	107.5	110.0	(+) 2.5	118.0
	原油FOB(\$/BBL)*	32.7	33.9	(+) 1.2	25.5
	パラキレン市況(\$/t)	720	729	(+) 9	548
資源・金属 セグメント	銅価(¢/lb)	123	123	-	77
	電気銅販売量(千t/期)	305	305	-	301
電子材料 セグメント	電解銅箔販売量(t/月)	2,845	2,781	(-) 64	2,367
	圧延銅箔販売量 (千m/月)	3,980	4,168	(+) 188	2,743
	ITOターゲット販売量 (t/月)	19.5	19.9	(+) 0.4	11.7
金属加工 セグメント	伸銅品生産品販売量 (千t/期)	20	20	-	18
	特殊鋼生産品販売量 (千t/期)	5	6	(+) 1	5
	高機能材比率(%)	32%	32%	-	20%

\* 原油FOBは、ドバイスポットベース

以 上